

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
伊勢市・三重県	242039・24	1	20年度～22年度	20年度～22年度
活性化計画の区域				
二見地区(区域面積 1,155.5ha)				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値	実績値	達成率(%)	備考
	A	B	B/A	
定住等の促進に資する遊休農地の解消	1.5ha	1.5ha	100	

(コメント)

遊休農地の解消は概ね計画どおり行われ、目標は達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
遊休農地解消支援	・遊休農地再生のための検討会の開催、先進事例及び市場等の調査、作物選定のための試験展示ほの設置 ・農地以外の利用についての検討会			伊勢市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
荘西土地管理組合 松下区自治会	平成20年度	平成22年度		
事業の効果				
二見町西地区では、交流施設(民話の駅蘇民:直売所)で販売できる作物の選定として試験展示ほを設置、そば、菜種などを作付けし、地域での新しい作物をモデル的に作付けすることができた。 松下地区では、農地以外の利用として、交流施設周辺の農地へ景観作物(ハス・スイレン)を植栽し、ハスの開花時期には交流施設への来客数が増加し、好評であった。				

3 総合評価

(コメント)

遊休農地は目標値どおり解消され、西地区では交流施設で販売できる作物を試験的に作付けしたこと、松下地区では交流施設周辺への景観作物の作付けにより開花時期の来客者数が増加したことなどから、総合的にみて目標は達成されたと考えている。今後も交流施設で販売できる作物や景観作物の作付けの推進等遊休農地解消を進めていきたい。

4 第三者の意見

(コメント)

良い取り組みであり、交流施設の交流人口増加に繋がると考えられるので、今後も取り組みを続けてほしい。

(伊勢市二見地区活性化計画第3者委員会)

【記入要領】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。